

iStudy[®]



証券コード:2345

2016年3月期(第20期) 第3四半期決算説明会

2016年1月29日

株式会社システム・テクノロジー・アイ

この資料は、2015年12月末現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

『2016年3月期(第20期) 第3四半期 決算の説明』

● 2015年11月……株式会社SEプラスを売却

当社の唯一の完全子会社をSEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)(旧親会社)に売却、これにより当社は非連結会社となりました。

● 2015年12月……株式会社バイキューブの

公開買付により親会社が株式会社バイキューブに変更
バイキューブとのシナジー効果により、

当社の今後の成長につながるものと見込んでおります。

(単位:百万円)

	2015年3月期 3Q累計	百分比	2016年3月期 3Q累計	百分比	対前期比
売上高	390	100.0%	360	100.0%	△7.8%
売上原価	260	66.7%	215	59.7%	△17.5%
売上総利益	130	33.3%	145	40.3%	11.7%
販管費	190	48.6%	166	46.1%	△12.6%
営業損失	△ 59	△15.3%	△ 20	△5.8%	—
経常損失	△ 63	△16.3%	△ 25	△7.0%	—
四半期純利益又は 純損失	△ 63	△16.3%	92	25.6%	—

売上高:対前期比 △7.8%

営業損失:対前期比 3千万円減少、当期純利益は子会社売却により大幅増加

※当第3四半期より個別のみの開示を行っております。

貸借対照表概要

(単位:百万円)

	2015年3月末	2015年12月末	増減
流動資産	714	865	151
有形固定資産	15	4	△ 10
無形固定資産	7	4	△ 2
投資等	77	42	△35
資産計	814	917	103
流動負債	150	176	25
固定負債	0	—	△ 0
純資産	663	740	77
負債純資産計	814	917	103

子会社売却による増加

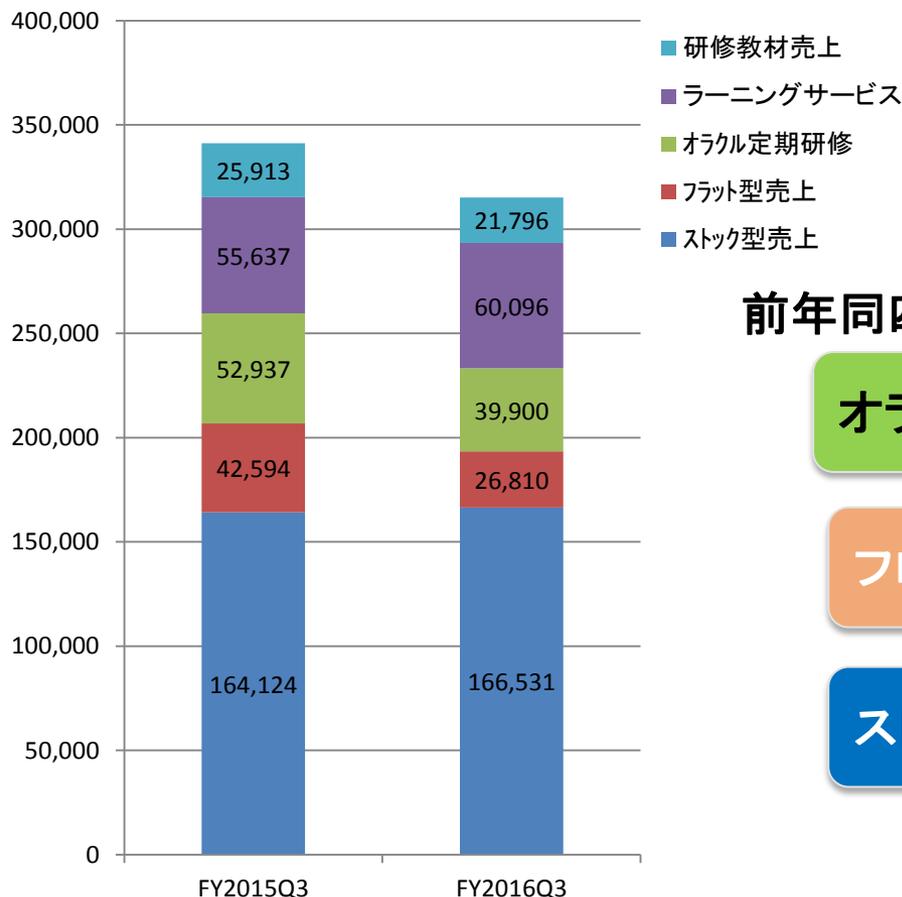
子会社売却による増加

子会社売却により現預金、利益剰余金増加

※当第3四半期より個別のみの開示を行っております。

主要サービス 売上高内訳 (前年同期比較)

単位:千円



前年同四半期に比べ

オラクル定期研修は、24%減少

フロー型売上は37%減少

ストック型売上は1.5%増加

主要サービスの内容

ストック型売上: 企業向け社員学習管理システムを期間契約で提供。継続的、安定的な売上。

フロー型売上: 企業向け社員学習管理システムのオンプレミス提供、新規導入時の導入支援サービス等。

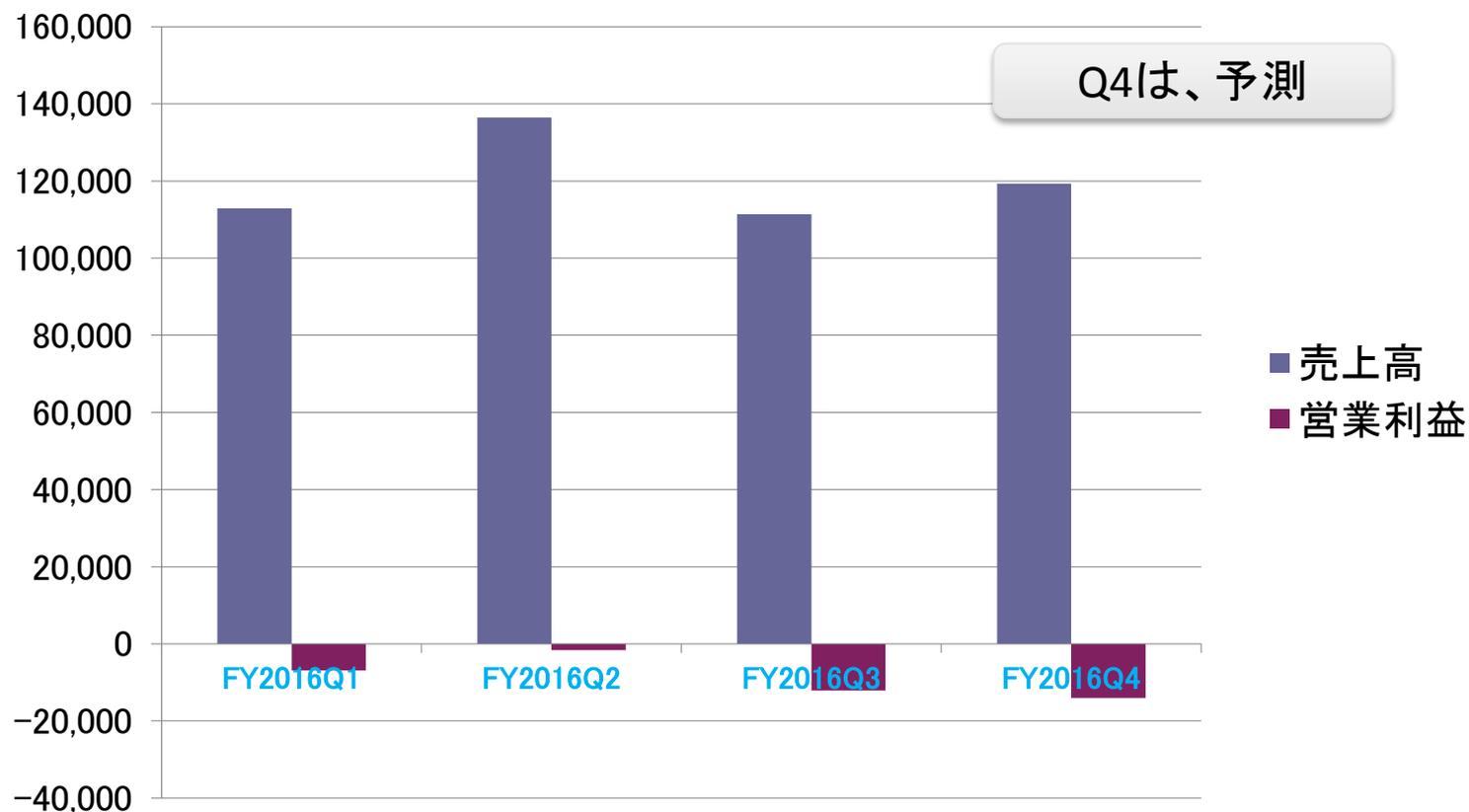
オラクル定期研修: オラクル社認定研修売上。

ラーニングサービス: 企業の外部研修における各研修会社への申込代行サービス。

研修教材売上: Eラーニング学習コンテンツサービス。

四半期業績推移

単位：千円



当第3四半期では、新体制に向けての準備の影響により、
売上計画に遅れが生じた
売上高が計画を下回り、売上高、営業利益とも厳しい状況で推移

※当第3四半期より個別のみの開示を行っております。

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期予想	480	△34	△42	80
前期実績	542	△52	△56	△56
前期比	△11.5 %	—	—	—

※2016年1月19日 公表済み

◆ 新経営体制スタート

2016年1月より組織体制変更

1月21日臨時株主総会開催・・・経営陣 刷新



新社長: 船岡 弘忠

1969年4月

日本アイ・ビー・エム(株)入社

その後、日本アイ・ビー・エム(株)関連会社
代表取締役社長等を経て、

2009年6月当社監査役就任

2016年1月当社代表取締役社長に就任

◆ ブイキューブグループとの製品融合、営業協業

◆ 新規市場への積極的投資